

島根創生 進んでいます。

島根県では、令和2年3月に島根創生計画を策定し、コロナ禍においても手法などを工夫しながら、さまざまな取組を進めています。今年度は計画の中間年に当たることから、このたび成果の中間取りまとめを行いました。これからも、県民の皆さまとともに「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」づくりを推進し、島根創生を実現していきます。



魅力ある農林水産業づくり

水田園芸の推進、林業の低コスト化、高性能漁船の導入などにより生産性・収益性を高めています。将来の農林水産業を支える担い手の確保・育成を進めています。

○水田園芸※1で推進する6品目※2の作付面積が128haから220haに拡大
集落営農組織等でも取組が進んでいます

※1 水田を活用した収益性の高い野菜づくり
※2 キャベツ・タマネギ・白ネギ・アスパラガス・ブロッコリー・ミニトマト



○1ha当たりの林業経営コストが9.7%低減※
高性能林業機械の導入や低密度植栽などの効果が表れています

※ R3年度実績(H30年度比)

○農林水産業の担い手確保が進んでいます
【農業】認定新規就農者 44名(R3年度) ※過去最高
【林業】林業就業者数 960人 → 979人
【水産業】沿岸自営漁業の新規就業者 11名(R3年度)

ここも注目

- ▶ 美味しな認定※1の上位基準である「美味しなゴールド」が全国で初めて国際水準GAPガイドラインに準拠していると認められました※2
- ※1 産品が県の定めたGAP(生産工程管理基準)に基づき生産されていることを認証する制度 ※2 青果物・穀物のみ
- ▶ 年間の県内原木生産量が62.3万m³(R元年)から66万m³(R3年)に増加

力強い地域産業づくり

県内企業の付加価値向上、競争力強化、人材確保・育成の支援を進めています。県内企業の再投資や県外企業の新規立地による産業の高度化と雇用の場の創出を進めています。

○次世代たたら協創センター※1を島根大学が設立
金属素材の先進的な研究開発等の取組が進み、工学系新学部※2の創設にもつながりました

※1 通称「NEXTA(ネクスタ)」 ※2 材料エネルギー学部(R5年4月創設)



○県内IT企業の従業者数や売上が増加
【従業者】1,608人 → 1,717人
【売上高】289億円 → 322億円

○県内企業の再投資や県外企業の新規立地が実現
約230億円の投資と591人※1の増加雇用が見込まれています※2

※1 うち228人は中山間地域等 ※2 R2年4月～R4年7月立地計画認定分

ここも注目

- ▶ 「美肌観光」のモデルプランや体験コンテンツが民間事業者により22件造成(R2年4月～R4年10月)
- ▶ 松江しんじ湖温泉、玉造温泉、美保関、石見銀山、温泉津温泉、有福温泉、津和野町、西ノ島町の8地域では、地域一体となった観光地の施設整備が進んでいます
- ▶ 農林水産物・加工食品の年間輸出額が約15億円(R元年)から約20億円(R3年)に増加
- ▶ この2年で303社が後継者を確保。事業承継を機に新規事業に取り組む事業者もできています

新しい人の流れづくり、女性活躍の推進

高校生や県内外に進学した学生の県内就職、県外からの移住・定住を促進しています。女性一人ひとりが個性や能力を十分に発揮しながら活躍できる環境づくりを進めています。

○若者の県内就職率が向上

【高校生】 75.0% → 78.5%
【県内大学生等※1】 29.4% → 37.9%
【県外大学生※2】 26.6% → 30.9%

※1 島根大、県立大、松江高専 ※2 県外4年制大学の島根県出身者



○首都圏からのU・Iターン件数が増加※
U・Iターン希望者向けの無料職業紹介ではこの2年で565名の就職先が決まりました

※ 561件 → 628件

○女性就職相談窓口を利用した就職者数が増加※1
女性活躍に積極的に取り組む企業も増えています※2

※1 156名 → 223名 ※2 「しまね女性の活躍応援企業」244社 → 312社

ここも注目

- ▶ 学校と地域が一体となった協働体制「高校魅力化コンソーシアム」がすべての県立高校で構築
- ▶ 産業界の新規認定者数が19年ぶりに100名を超え103名(R3年度)となりました
- ▶ 令和3年10月に開設した、しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」により41名(R3年度)が地域活動に参加

結婚・出産・子育てへの支援

結婚を望む方の希望をかなえるため、多様な出会いの場を増やす取組を進めています。安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目ない支援体制づくりを進めています。

○令和3年度の成婚数が過去最高(82組※)を記録
しまこの会員数増等によりマッチングの幅が広がっています

※ しまね縁結びサポートセンターが関わり、成婚の報告のあった件数
縁結びボランティア(島根はっぴいこーでいねーたー『はびこ』)70組
有料会員制コンピューターマッチングシステム『しまこ』12組



○保険対象外の治療費に対して県独自の
不妊治療助成を行っています

○全市町村で中学生までの
子どもの医療費助成が行われています※

※ お住まいの市町村で助成の内容が異なります



○保育所の待機児童ゼロを達成※

※ R4年4月時点

○放課後児童クラブの受入れ環境整備が進んでいます

【受入れ可能児童数】9,801人 → 10,553人
【18時半まで利用可能なクラブ数】175カ所(R2年度) → 201カ所(R3年度)

中山間地域・離島の暮らしの確保

中山間地域・離島の暮らしを支える地域運営の仕組づくり(小さな拠点づくり)を進めています。地域資源を活用した商品開発などにより地域外から外貨を獲得する取組を進めています。

○生活機能の維持・確保のための実践活動に
取り組んでいる公民館エリア数が増加※
他のモデルとなるような複数エリアの連携も進んでいます

※ 110エリア(R2年3月) → 139エリア(R4年4月)



○この2年で農業の担い手不在が42集落で解消

○特定地域づくり事業協同組合※からの派遣を
きっかけとした地元企業への就職が実現

※ 「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用した地域の担い手を確保するための事業を行う組合



○この2年で中山間地域・離島の22事業者が
スモール・ビジネス※を開始

※ 地域資源を活用した商品開発等により地域外から外貨を獲得する取組

ここも注目

- ▶ 生活支援コーディネーターが全市町村に配置され、地域包括ケアの体制が充実しました
- ▶ 島根大学医学部附属病院に「総合診療センター」が設置されるなど、中山間地域・離島で必要とされる総合診療医の確保・養成が進んでいます

地域振興を支えるインフラの整備

国内外への空の玄関口である県内3空港の機能の拡充を進めています。地域経済の発展を支える高速道路の整備を進めています。県民の生命、身体及び財産への被害を最小限にするための防災・減災対策を進めています。

○県内3空港の路線を維持・拡大

【出雲空港】成田発着のLCCチャーター便が初運航
【萩・石見空港】羽田便2便化が令和5年10月まで継続
【隠岐空港】羽田発着のチャーター便が初運航



○高速道路開通区間の沿線で企業進出等が増加
令和3年の地すべり災害では山陰道が国道9号の
代替路として機能しました

○緊急輸送道路の落石対策を進めています
【整備率】5.9% → 21.8%



○将来世代まで住み続けられる江の川中下流域を
目指した「治水とまちづくり連携計画※」を
国・県・沿川4市町が連携して策定

※ 通称「江の川中下流域マスタープラン」

